

第3回あきる野市地域包括支援センター運営協議会議事録

日時：令和5年3月23日（木）午後7時30分

場所：あきる野市役所5階503会議室

1 開会

事務局（市）皆様お揃いですので、若干早いですが始めさせていただきます。令和4年度第3回あきる野市地域包括支援センター運営協議会を開会いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。また、しばらく開催することができていませんでしたが、本日はWebの併用なく開催できましたこと、重ねてお礼申し上げます。申し遅れました。私、高齢者支援課長の山田でございます。よろしく願いいたします。本日、布田副会長、秦委員から欠席のご連絡をいただいております。また、会議録作成のため、会議中は録音させていただきますので、ご了承ください。それでは、会議次第に沿って進行させていただきます。着座にて失礼いたします。それでは次第2、会長挨拶でございます。米山会長よろしく願いします。

2 会長挨拶

会 長 こんばんは。久しぶりのリアルな会議となります。ようやく世の中も活気づいてまいりました。本日は貴重なご意見をよろしく願いいたします。

事務局（市）米山会長ありがとうございました。協議事項に入る前に、この協議会は公表することとしています。委員の皆様にお諮りいたします。傍聴をお認めいただけますでしょうか。

委 員 ー異議なしー

事務局（市）はい、ありがとうございます。本日の傍聴者はお一人となっております。それでは、入室していただきます。

ー傍聴者入室ー

事務局（市）それでは、ここからの進行に関しましては、あきる野市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第9条第2項に基づきまして会長をお願いいたします。

3 協議事項

(1) 令和5年度地域包括支援センター事業運営方針について（資料1）

会 長 それでは、令和5年度地域包括支援センター事業運営方針について事務局から説明をお願いいたします。

－ 事務局説明 －

会 長 ありがとうございます。何か委員のみなさんから、ご意見、ご質問ありませんでしょうか。

委 員 認知症を理解し、認知症の方や、その家族を地域で支える体制をつくるということですが、認知症になられた方が表に出てこないケースが多いように感じる。親族や配偶者の意向もあると思う。そのあたりはどのようにお考えか聞きたい。

事務局（市） 地域の方が把握しにくい認知症の方がいるのも事実で、地域の方からの情報が市や包括支援センターに届きやすい関係づくりをしていかななくてはいけないと思っています。また認知症の方、その家族の方が外に出にくい状況はあると思います。そういったときは、ご近所の方であったりとか、周りの方が気づいてあげることが必要になってくると思います。そのためには、そういったことの周知であったり、包括支援センターでも行っております認知症サポーター養成講座等の参加を市民の方に促し、より理解を深めていただいて、早期に気づいてあげることが必要と考えております。

会 長 認知症自体は介護保険制度ができる前に比べてかなり理解されるようになってきた。結局は、認知症は病気の一つなんだということをおわかってもらえるように、医師会の問題もあるでしょうけど講演会等で知ってもらえればと思う。

事務局（市） 昨年8月の広報で認知症の記事を載せてはどうかということで、広報担当から話がありまして、認知症の相談は包括支援センターへという内容を一面に掲載したところ、認知症サポーター養成講座の参加申込者も増え、反響が大きかった。各包括への認知症の相談が劇的に増えたわけではないが、プロモーションの部分では続けていく必要があると感じています。

委 員 関連するかはわかりませんが、3ページ（3）にありますように、初期集中支援チームというのはどういったことをするのか、一般の方はなかなか認知症のことを理解していないと思っています。市の広報など紙面を通じてPRしていくことも大切だと思っていますのでよろしく願いいたします。

会 長 他にはございますか。なければこの運営方針に承認いただける方は挙手をお願いします。

－ 挙手 －

会 長 承認されましたので、この運営方針に従って、各センター運営をお願いいたします。

(2) 令和5年度地域包括支援センター人員体制について(資料2)

会 長 それでは議題(2) 令和5年度地域包括支援センターの人員体制について事務局から説明をお願いします。

－ 事務局説明 －

会 長 はい、ありがとうございます。委員のみなさんからご意見ございますでしょうか。ないようですので、4の報告事項に移ります。

4 報告事項

(1) あきる野市地域密着型サービス事業の利用状況について(資料3)

会 長 あきる野市地域密着型サービスの利用状況について事務局から説明をお願いします。

－ 事務局説明 －

会 長 ありがとうございます。何かご質問ありますか。私からいいですか。この利用率というのは数字が上がった方がいいのか。13%というのは低い数値でしょうか。

事務局(市) 認定者数はここでいう1月末現在で3959人。このうちの552人の方が利用しているという利用率ということになりますけども、少なればサービスを利用しない元気な方が多いという捉え方はできると思います。

会 長 こういうものがあるということを知ってもらえれば状況も変わると思う。需要と供給のバランスはどうなのか。

事務局(市) サービス利用が増えてくるということにもなりますけども、当然、本来であれば、サービスを必要としている方が利用につながっていない状況があれば、利用率の増加につなげていく必要があると思いますけども、必ずしも上がっていかなくてはいけない数字ではないと考えております。

委 員 デイサービス悠々の利用定員が18人ですが、事業所がなくなることで影響はありそうでしょうか。

事務局(市) 悠々を利用されていた方は、他の事業所等で受け入れしていただく必要があると思っておりますけども、影響がどこまで出てくるかは現段階では把握できていません。

委 員 地域密着型通所介護は現時点でこれだけの事業所数がありますけども、参考までにこれからも増えていく可能性はあるのでしょうか。例えば開設したいという話があったときにはどうなるのか。

事務局(市) 第8期計画の中ではそういった整備の目標をもって進めているところではありますけども、ここで第9期に向けた策定委員会が始まったところでございますので、そういった地域密着型のサービス等も施設に関する整備の方針ですと

か方向性は検討していくことになると思います。

(2) 小規模多機能型居宅介護事業所の公募結果及びサウンディング型市場調査の実施について(資料4)

会 長 他に何かございますか。ないようですので(2)小規模多機能型居宅介護事業所の公募結果及びサウンディング型市場調査の実施について事務局から説明をお願いします。

－ 事務局説明 －

会 長 はい、何かご意見ありますか。

委 員 応募の見通しはどうか。

事務局(市) 応募状況とサウンディングの参加状況等につきましても、今後公表するかたちとなります。まだ公表前ということでこの場での発言は控えさせていただきますが、見通しにつきましては、サウンディングはご意見を対話で伺っていくこととなりますので、実際にそこが応募につながっていくかは、今後要綱、要領を見直していく中で行ってまいりますので、今現在では答えることが難しい状況でございます。

委 員 目標はいつ頃までか。

事務局(市) 今後のスケジュールに関して申し上げますと、3月中の公表、令和5年度に入りまして、改めて募集の要綱の見直しを行いまして、公募となります。第8期計画の中でも8期中に整備を進めていくこととなっておりますので、基本的には令和5年度には着手できるように臨みたいところではございます。

5 その他

会 長 他はどうでしょうか。なければ次に移りたいと思います。5その他につきまして事務局、委員から何かございますか。

委 員 高齢者支援課の方針を聞きたいのですが、地域包括ケアシステムというのは、私が知る限り2025年を目処にやってきたというところではありますので、進捗状況と、あと2年間の中で新しい取り組みなどもあれば教えていただきたい。

事務局(市) こちらに関しましては2025年に、団塊の世代が75歳になられるというところで基本に考えているものではあります。それを含めて全体としての包括的なケアシステムというところではございます。当然、ケアシステムの中の医療と介護、介護予防、地域の活動といったものがあると思いますが、個々の取り組みに関しましてはそれぞれの支援活動、医療と介護に関しましても事

業を行っているところでございます。この先、何かに向けてというところでは、ケアシステムに特化してというところでは、来年度でいえば通所型サービス C ですとか介護予防に力をいれていくところではございますけども、新たな取り組みを計画しているかというところというところでは現時点ではお答えできるものはないということになります。

会 長 他に何かございますか。特にないようですので進行を事務局にお返しします。
事務局（市）先ほどの委員の包括的ケアシステムの回答で一つ付け加えさせていただきますと、包括ケアシステムの中では包括支援センターが重要な役割を担っておりますので、そこに関する強化、充実を図っていく必要はあると思いますので、付け加えさせていただきます。特にその他、委員の皆様からないようでしたら閉会となります。閉会でございますが、本日、布田副会長が欠席となっております。令和4年度最後の開催となりますので、米山会長の方から改めて閉会の挨拶をいただければと思います。

6 閉会

会 長 本日はご苦勞様でした。コロナがようやく落ち着いて、実際にお会いして会議ができるようになりましたので、今後、意見を活発にいただいて、この会を盛り上げていければと思います。ご苦勞様でした。

事務局（市）会長ありがとうございました。委員の皆様もありがとうございました。令和5年度第1回につきましては、7月頃に開催を予定しています。改めてご案内の方はさせていただきますのでよろしく願いいたします。本日は大変お疲れ様でした。